

2013年2月5日

日本ベンチャー学会 会員各位

新研究プロジェクト制度とその募集について

平素より学会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

日本ベンチャー学会では、2010年度初頭より新しい取り組みのための検討を続けて参りました。そしてこのたび、およそ2年間の移行期間を経て、プロジェクト型の新制度を発足させることとなりました。

本制度はこれまで研究部会活動などを通じて長期間蓄積されてきた知識資産を基盤として、全国大会および学会誌との連携をはかり、より広範かつ深い議論を学会全体で共有していくことを主な趣旨としております。

本制度は二つの異なるタイプのプロジェクトによって構成されます。一つは先端領域におけるアカデミックなベンチャー企業研究を積極的に支援する研究型プロジェクトです。研究型プロジェクトでは挑戦的な研究課題に取り組む少人数のチームを支援することを主たる目的としています。この制度は科学研究費補助金制度と異なり、学会員であれば誰でも研究チームの正式メンバーとしての資格があります。一方で、年一回の全国大会における研究報告に加え、研究期間終了後のベンチャー学会誌への論文投稿が義務づけられます。

もう一つが、ベンチャー学会の特徴の一つである実践を大切にしたい、実践型プロジェクトです。ベンチャー学会会員の関心はアカデミックな研究のみにとどまるものではありません。実践型プロジェクトではこれまでの研究結果の応用、および研究の端緒となる先駆的な起業家の事例報告などを積極的に取り上げ、学会内で情報共有を図るチームを支援することを主たる目的としております。またプロジェクト部会を下部組織として設置することを認め、ネットワークを形成しながら活動していただくことなども視野にしております。こちらは年一回の全国大会における成果中間報告やプロジェクト終了後の記録報告など（詳細は後述）が必要要件となります。

すべてのプロジェクトは2年間の期間を活動の区切りとすることに加え、全国大会での報告を見据えて、研究型プロジェクトでは2名以上、実践型プロジェクトでは1名以上の学識経験者をチームメンバーとして含むことが原則となります。

また、上記の研究型プロジェクトおよび実践型プロジェクトの申請は、担当委員会によって審査され、採否および予算額が決定されます。予算は研究型プロジェクトと実践型プロジェクトで上限額が異なっております。

本研究プロジェクトは別に定められた研究プロジェクト規定に従って運営されます。規定は定期的に見直しの対象とし、学会員の皆さんにとってよりよい研究支援制度を目指していきます。

これまで長きにわたって研究部会として活動され、活動実績を積み上げてこられた各研

究部会代表および世話人の皆様には、学会への貢献について深い感謝を申し上げるとともに、是非、新制度を活用してより研究および実践を推進していただければと考えております。また、これまで全国大会以外に学会の活動に触れてこられなかった会員の皆様におきましては、是非、本制度を活用してさらに研究を推進していただきたいと考えております。

	研究型プロジェクト	実践型プロジェクト
制度の趣旨	挑戦的な研究を目指す 少人数のチームを支援	これまでの研究結果の応用および先駆的事例報告などを積極的に取り上げ、学会内で共有を図ることを支援
組織要件	学識経験者2名以上を含む ベンチャー学会会員4名以上	学識経験者1名以上を含む ベンチャー学会会員10名以上
予算	25万円（または20万円）	5万円
必要要件 （達成目標：2年間ごと。）	年一回の全国大会発表と研究期間終了後のベンチャー学会誌への論文投稿 （学会誌の「研究論文」、 「事例研究論文」への投稿）	年一回の全国大会での発表（ポスターセッションを想定） （①学会誌の「研究ノート」、「資料」への投稿、②（会報を含む）事例等の記録報告、③冊子体形式の報告書：リアルな事例を書く。）

日本ベンチャー学会 会長 金井一頼
日本ベンチャー学会 企画委員会